

進路便り Road to the Future

No.31

進路希望状況について

京都府内の中学3年生を対象として、11月に行われた進路希望調査の集計結果を配布しました。この集計結果は、公立高校への進学志望状況の調査結果であり、現時点での府内の中学3年生がどのような進路希望を持っているかを読み取ることができます。自分の志望校に、どのくらいの志願者が集まっているのか、参考にしてください。

ただ注意してほしいのは、“〇〇高校の方が志願者が少ないので、進路希望を変更しよう”と安易に考えないことです。あくまでも、11月時点での調査結果であり、その後進路希望を変更している人がいるかもしれません。また、今後変更する人もいるかもしれません。

安易な変更は、本当に自分が行きたい進路先を失うことになります。また、変更したからといって、必ず合格するとも限りません。変更がだめだと言っているではありませんが、しっかり考え、よく相談して決めてください。見学に行ってもいらない学校を希望するなんてことはないようにしてほしいと思います。

大事なことは、今回の調査結果から、自分と同じ目標を持つ人がたくさんいることを認識し、自分も頑張ろうという強い気持ちを持ってもらえればと思います。そんな心のスイッチを入れるきっかけにして、日々の授業や、家庭での学習に励んでください。

なお、この調査結果は、明朝の新聞紙面によっても、発表される予定です。

こんなことは読みとれるかなあ　～進路担当のつぶやき（あくまでも私見）～

- 普通科の前期選抜A(A1)方式は、倍率が概ね4倍前後。かなり狭き門である。

特に山城、鴨沂、洛北、鳥羽、桂、向陽、日吉ヶ丘は倍率が5倍を超え、志願者が多い。

- 普通科の前期選抜B(A2)方式は、倍率が概ね2倍程度である。

その学校が求める生徒像に合った生徒（入学後も特定の部活を頑張るなど）が集まっている。

部活などで高校から声をかけてもらっていても、全員が合格するわけではない。

- 専門学科の前期選抜は、倍率が概ね2倍前後。学校・学科によってばらつきがある。

昨年度新設され、志願者が非常に多かった京都工学院高校は、今年度はやや落ち着いている。

昨年度中期選抜で定員割れがあった京都すばる高校情報科学科は、今年度は定員割れしない。

- 昼間定時制の清明高校は、今年度も人気があり、倍率が1.5倍ぐらいになりそう。

くれぐれも

※学校・学科・方式による部分もあります。不明な点は相談してください。数字に振り回されないように。

京都府高校生等修学支援事業 貸与予約申請 受付中です

詳細は、11月の三者懇談でお渡しした資料（サーモンピンク色の冊子）を参照して下さい。

予約申し込みの締め切りは、12月20日（火）ですので、隨時ご相談ください。

※ 申し込みに関しては、担任に早めに相談してください。

※ 今回、申し込みが出来なくても高校入学後に申請は可能です。ただし、貸与が遅れます。

上記の京都府の支援事業では、貸与金は入学後（4月末以降）にしか貸与されません。そこで、入学金や制服代など、入学当初に必要なお金は各ご家庭で準備していただく必要があります。そのための教育支援金として、社会福祉協議会では、教育支援資金の貸付の制度があります。事前の相談や審査がありますので、制度の利用をお考えの場合は、早急に市区町村の社会福祉協議会に、ご相談されることをお勧めします。